

活動報告

団体名	社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会
活動名	台風 19 号に伴う災害支援のための須坂市及び長野市支援事業（長野県）
活動期間	2019/11/16 ～ 2019/11/16
活動の成果	<p>【1班】住宅裏の畑に溜まった泥をかき出す作業を行った。敷地内に重機が入れずスコップと荷車で泥をかき出し、重機で除去できるよう道路沿いに道をふさがぬよう集めた。約 6 時間、他団体と協働し作業に取り組んだ。結果、畑の泥を粗方かき出し次の支援者が活動しやすい段階へ進めた。休憩時は被災世帯と昼食等を食べ「一緒に食べて楽しくお話するのも支援だと思っておくれ。交流が楽しくて気分が晴れるよ」と被災者が話していたことが印象的だった。にぎやかな食事の時間が少しでも気分を晴らす一助になったことを願うばかりである。</p> <p>【2班】住居を兼ねた工務店の倉庫の泥出しやゴミ出し、倉庫内にあった木材の拭き取り等を行った。家屋は被災世帯が生活できる状態でなかったため、避難所で寝泊まりをしているとのこと。約 6 時間の作業で倉庫内は粗方片付けることができた。家屋の方は被災世帯とその親戚が作業を行っていた。昼食や休憩の際には、被災世帯と交流を図り、ヒアリングを行った。</p> <p>【3班】約 6 時間、家屋と納屋の泥出し・納屋のゴミ出し・敷地内の屋外の泥出し等を行った。また、リンゴの木の幹に付いていた泥の除去作業も行った。昼食や休憩の際には、被災世帯と交流を図り、ヒアリングを行った。</p> <p>【総括】各々の班が被災世帯のニーズに応える形で支援を行い「被災以前の日常に近い生活を取り戻す」復興作業に微力ながら助力できたものとする。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>支援事業の一環として皆様からのご寄付を活用させていただき、家屋内外の泥出しや家財搬出などの活動を行い被災地の復興に貢献できました。誠にありがとうございました。発災後 1 ヶ月が経った当時は多くのボランティアが支援活動を行っていたものの課題は山積みで一朝一夕に解決できるものではなく、様々な支援を長期的に求めている状態で「被災者が穏やかに生活できる日常を一日でも早く取り戻すには支援のバトンを繋ぎ続けることが必要不可欠であり、支援の輪は広げるだけでなく維持することも重要」であることがわかります。ボランティア活動はほとんどが無償ですが作業に必要な物品・高速料金・車両燃料費などは各自の自己負担です。見知らぬ他者のため自身の時間と資金を割いてまで支援活動に取り組む有志でも、費用を捻出し続けるのは限界があります。意志ある個人や団体が支援活動を継続的に行えるのは寄付者の皆様のご支援の賜物です。心より感謝申し上げます。より多くの意志ある個人や団体が支援活動等に取り組みますよう「支援者の支援」を今後とも何卒よろしく願いいたします。</p>

(活動のようす)

